

【家庭分野】

教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

家庭分野の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造する資質・能力を次のように育成する。

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

1) 授業の受け方・きまりについて

- ・授業は集中して受ける。
- ・提出物などの期限や時間を守り、忘れ物のないようにする。
- ・期末テストだけでなく、授業に取り組む姿勢や課題に丁寧に取り組み、期限を守って提出することも評価をつける際に重視する。
- ・話し合いやグループ滑動を行うときは、相手を否定せずにお互いを認め合い、様々な意見を取り入れるようにする。

2) 持ち物

- ・筆記用具
- ・教科書『技術・家庭 家庭分野(開隆堂)』
- ・家庭科ファイル
- ・『新技術・家庭科総合資料(正進社)』

※その他必要な持ち物はその都度生徒に連絡します。

3) 定期テストについて

- ・テストの内容としては、主に授業で行ったワークシートやプリント、教科書を中心として出題します。授業中に大切なことを伝えますので、しっかりと聞き、チェックをしておきましょう。

- ・家庭科ファイルには、今までやってきた課題、授業で使ったワークシートやプリントを全てとじてください。あとで習ったことを復習したり、テスト前に振り返ることができます。
- ・家庭科ファイルは定期テスト後に回収しチェックします。プリントがすべてあるか普段から確認してください。

4) その他

・授業で渡したプリントやワークシート、課題は絶対になくさないようにしましょう。万が一なくしてしまった場合は、もう一度渡すことができますので、必ず相談してください。

5) 学習内容

【第3学年・家庭分野】 17. 5時間

時間	学習のねらい	単元名・題材名	学習活動・学習内容	チェック
9	家族・家庭と子どもの成長	1 幼児の生活と遊び	① 幼児期ってどんな時代？ ② 幼児の心・体の発達 ③ 幼児のおやつ作り ④ 子どもの成長と家族の役割 ⑤ 子どもの成長と地域 ⑥ 幼児の遊びと発達 ⑦ 幼児の遊びを支える ⑧ 幼児と遊ぶおもちゃづくり	
6		2 幼児とのふれ合い	①ふれ合い体験の前に ②ふれ合い体験をする ③ふれ合い体験を振り返る	
2		3 これからのわたしと家族	①中学生と家族とのかかわり ②これからのわたしと家族	
1.5		3 年間のまとめ	3年間のまとめ	

※本年度「幼児・赤ちゃん触れ合い体験」は、11月頃を予定しています。

【観点別評価】

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力、人間性等
○幼児の遊び道具製作等ができる。 ○家族関係をよりよくする方法を考え、実践することができる。 ○幼児の遊びの意義や心身の発達の概要、幼児を支える家族の役割、	○幼児の心身の発達に応じた遊びや遊び方について考え工夫する。 ○生活の自立や家族とともに家庭生活を工夫し創造する。 ○幼児の心身の発達などを踏まえた上で、幼児とのよりよい関わり	○自分の成長と家族・家庭生活とのかかわりについて、関心をもつ。 ○幼児に関心を持ち、幼児の遊び道具製作等に意欲的に取り組む。

<p>基本的な生活習慣の重要性について理解する。 ○家族生活が地域の人々とのつながりの中で成り立つことを理解する。</p>	<p>方について考え工夫する。</p>	
---	---------------------	--